**数研『生物基礎』（生基/707）観点別特色**

（1）内容

・全体として，本文はしっかりとしたていねいな記述であり，適宜問いかけ文やつなぎ文が入っていたり，各所に考えさせる問いが配置されているなど，生徒が読みやすく，また自ら考えて主体的に学習を進められるような構成になっている。

・本文中の適切な箇所に「Quest」として問いかけがあり，教科書をただ読むだけではなく，立ち止まって考えることで，理科の見方・考え方や思考力を養えるよう工夫されている。

・幅広い知識が得られる「参考」，生徒の興味関心を高める「コラム」などが，本文と適切に関連づけながら扱われており，教科書全体を通じて幅広い知識や教養が身につく構成となっている。

・本文の学習後に，本文中の「問」，章末の「チャレンジ」などを活用して，より深く考えたり，話しあったりする活動を取り入れることで，思考力・判断力・表現力の育成につなげることができる。

・本文中の「思考学習」では，与えられた実験とその結果や図表などを読み取り，解釈したり考察したりする学習を行うことができる。

・巻頭には「探究のプロセス」，巻末には「探究のテーマを見つける」「探究の実践例」が設けられており，また，各章末には「チャレンジ-探究する力を身につけよう-」という課題が設けられており，科学的に探究する技能を身につけられるような配慮がなされている。

・「観察」などには，観察や実験を行うにあたって注意すべき点が「注意」マークを付して目立つように記載されており，安全に観察や実験を行うための配慮がなされている。

・「生物基礎」の学習指導要領に示されていない内容には，「発展」マークが付されており，本文とは明確に区別されている。また，発展の内容・分量ともに適切である。

（2）構成・分量

・本文は4章構成で，章の中に節，節の中に項目（1，2，…），項目の中に小項目（A，B，…）が繰り返される構成である。それぞれが適切な分量で区切られているため，授業計画の立案及び進行において支障がなく，生徒にとっても学習内容の位置づけを把握しやすいと考えられる。

・文章や図は見開きで完結しており，見やすく，授業の区切りをつけやすい。

・節はじめには「この節の目標」が設けられており，生徒が目標を意識し，見通しをもって学習できるようになっている。

・節末の「節末チェック」では，生徒自身が学習内容をまとめることで，自ら理解度を確認することができるとともに，身につけた知識を活用し，学習内容をより深く理解することができる。

・章のはじめに「中学校で学習したこと」「この教科書で学習したこと」が簡潔にまとめられており，生徒がこれまでに身につけてきた知識を活かして「生物基礎」の学習を進められるよう配慮されている。

・章末の「知識の確認」では，章ごとの学習内容が簡潔に要約されており，要点の整理に役立つ。また，「補充問題」では，その章で学習した内容を確認することができる。

・章末の「日常生活や社会との関連」では，その章で学習した内容が日常生活や社会とどのようにかかわっているのかを自ら調べるという活動ができる。

（3）表記・表現及び使用上の便宜

・文章は平易かつ文節の区切りが明確であり，生徒にとって読みやすい。

・本文中の重要用語にはすべてルビが振られ，生徒の学習を助ける配慮がなされている。

・巻末の「生物基礎で理解しておきたい重要用語」では，重要用語を，関連する用語どうしの関係を示しながらをまとめて解説してあり，生物基礎で学習する主要な概念の理解を深めるのに役立つ。

・教科書中のすべて問題に対して巻末に解答例が掲載されており，生徒の自学自習にも配慮されている。

・図版の色使いはカラーユニバーサルデザインに配慮され，本文などの文字は見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。

・用紙は丈夫で軽く，また，A5判のためコンパクトで，生徒の日々の持ち運びに負担がかからないよう配慮されている。

（4）その他

・教科書中のすべての実験に対して，二次元コードからアクセスできる実験映像が準備されており，操作や結果を実際に見ることで，理解を深め，技能を習得することができる。

・二次元コードからアクセスできる図版の解説動画（アニメーション）が約30点あり，予習・復習などの自学自習にも活用できる。

・本文中にカラー写真が豊富に取り入れてあるだけでなく，巻末には100点以上の生物の写真がその生物の解説とともに掲載されており，生徒の興味関心を一層高めることが可能となっている。